

丹波中休校中だより

みんなでピンチを乗り越えよう！

生徒向け通信：No.1 2020.3.5 丹波中校長：清水浩喜

ついに始まった臨時休校！『元気ですか———！？』

ついに始まった臨時休校措置。初日、どう過ごしましたか。学習のこと、生活リズムのこと、食事のこと、そして、いつもある風景がないこと、戸惑っていることでしょうか。しかし、ものごとへの取組は、はじめが肝心です。「早寝早起き朝ごはん」で土台をつくり、計画的に学習すること、そして、困ったことがあったらまずは自分で解決を試み、それでも不安な時は学校に相談してください。遠慮はいりませんよ。先生方は、いつもいつのときでも、丹波中生の応援団です。そんな応援団から、『丹波中休業中だより・みんなでピンチを乗り越えよう』を発行します。これは、生徒のみなさんに向けた通信です。みなさんと会えないさみしさを、この紙面での情報交換で払拭していきます。さあ、丹波中生、みんなでピンチを乗り越えよう！きみならできる！きみたちならできる！

【情報①：山梨県公立高校後期入試】

3月4日、山梨県公立高校後期入試が行われた。県教育委員会は、出題方針を次のように述べている。「基本的な知識を問う問題に加え、思考力や答えを導く過程を測る問題など、バランスよく出題した。また、実社会での課題解決能力を育てようと、社会の動きなどと関連づける出題にも配慮した。」つまり、社会に出て生き抜くための思考力と表現力を身につける努力を続けなさい！というメッセージが込められているということだ。つまりつまり、授業においても、家庭学習においても、生活全般においても、まずは自分でよく考え自分なりの解釈をもつことが大切だということだ。そして、これと同時に、解釈のための知識や情報をいかに増やしていくかということにも取り組みたい。読書がいい。新聞がいい。日記を書くことがいい。休み中も、少しだけこんなことを意識してほしい。おっと、それから、裏面に「国語の漢字」を載せた。あなたは、何問できるかな？次は、きみたちだぞ！



【情報②：休業中の過ごし方についての提案】

「ちょっと疲れたなあ。」「気分転換をしたいなあ。」、そんなときにおすすめは、これだ。

- ・臨時休業期間における学習支援コンテンツポータル（文部科学省）
- ・科学技術広報研究会 臨時休校対応特別企画（科学技術広報研究会）



ぜひ、一度ここにアクセスしてみてほしい。いろいろな教科や分野のコンテンツがたっぷりある。短時間なものから長編まで、クイズやゲームもある。少しやってみたら、楽しい。新しい発見が、いっぱいだぞ。

【情報③：先生方は、何をしているの？】

生徒のいない教室や学校は、とにかくさみしい！先生方も、ちょっと元気がないかなあ。しかし、そこは丹波中の先生方、朝からばりばり仕事を展開中だ。みんなの宿題を作ったり、通信表やいろいろな書類を作ったり、卒業式の準備をしたり、ばりばりだ。まだまだ始まったばかりだが、先生方もみんなと一緒にこのピンチを乗り越えようとしている。丹波中ならできるね！※給食がない。今日は、みんなでカレーを作って食べる。食べることも、大切な仕事なんだなあ。

